

平成27年度理事会（総会）議事録

日時：平成27年1月18日（日） 13時～16時

場所：クーポール会館 7階会議室

出席者：55名 委任状：12通 代理：1名 オブザーバー：2名

会長挨拶

本年もよろしく協力をお願いします。県体協は国体1本に絞って評価をしているので、国体で頑張ることを期待しています。指導者を招いて強化を図っているので、その指導方法を取り入れてもらいたい。

1. 平成26年度事業報告（落合理事長）

理事会資料に基づき平成26年度事業報告全般を説明した。

- ・県連主催の大会の内、雨により県地区対抗戦と山静大会が中止になった。
- ・新規に県混合ダブルス大会を実施した。
- ・日本連盟ランキング 樋口紀代美・森本みどり 第1位を第3位に訂正

各委員会からの報告

(1) 強化委員会からの報告（伊藤委員長）

- ・国体選手選考方法について

成年男女は、国体県予選大会の優勝者2名を国体代表とし、残りの3名については、国体県予選大会および国体シングルス代表候補選手選考会で6名の代表候補選手を選出し、強化練習等の結果で決定する。

少年男女は国体県代表候補選手選考会の成績で候補者8名選出し、強化練習等の結果で決定する。

(2) 指導者育成部会からの報告（足立部会長）

- ・指導者研修会の開催について

26年度は2月7日、8日に北本秀幸氏と帆足仰氏を講師に招いて南部および北部体育館で72名の参加で予定している。また、2月14日、15日に岡村勝幸氏を講師に招いて公認スポーツ指導者を対象にした研修会を有度山および西ヶ谷コートで実施を予定している。

公認スポーツ指導員養成講習会は、3年に1回の実施とし、次回は28年度の予定である。

なお資格取得希望者には、その旨事前に周知しておいて下さい。

(3) 審判委員会からの報告（漆畑委員長）

- ・審判講習会講師打合わせ報告

11月29日、日連にて2級審判員講習会で使用する資料（パワーポイント）の説明会に参加し、12月20日に有度山会議室にて審判講師による打合わせ・説明会を実施した。

- ・28年度は1級審判員検定会を三重県で実施する予定である。30～40代の方に1級審判員の資格を取得していただきたい。

2. 平成26年度収支決算報告（落合理事長）

理事会資料「平成25年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明をした。

<主な増減>

- ・県混合選手権大会の追加実施により収支とも増えた。

- ・ソフトテニス週間、愛好者増加対策の日連から補助金が27年度にずれ込んだ。
- ・国民体育大会の補助金が2種別の出場を予定したが、1種別の出場のため減った。
- ・県地区対抗戦および山静大会が雨天中止により収支とも減った。
- ・愛好者増加対策事業費は実施したが支払いが27年度にずれ込んだ。
- ・繰越金が8百万円から11百万円になり約3百万円増加した。

3. 平成26年度収支決算監査報告（榛葉監事）

12月14日有度山会議室にて監査を実施した。監査結果について、会計処理は適切に処理されているとの報告があった。

<事業報告、収支決算報告について、承認された。>

4. 平成27・28年度役員改選について

飯田役員選考委員長から以下のとおり報告があり、承認された。

会長：高木安一郎

副会長：岩本義久、鷲頭典利、市川博、鈴木義勝、足立真一、市川雅子

理事長：落合敏男

副理事長：小林正、伊藤公祐、長谷川裕巳、佐野浩一、高橋一、小野康弘、渡瀬義正、片山さとみ

監事：榛葉正志、松浦和彦、村田吉昭

顧問：金谷晴子、佐野正和

なお、中体連と小学生部会から副会長を各1名選出したいと申し出があり、承認された。

人選は後日決定することとし、3月の常任理事会で報告する。

常任理事および理事については、2月から3月に掛けて各協会（団体）で決めていただき、事務局に報告をお願いしたい。また、3月の常任理事会までに専門委員会の各メンバーを決めていきたい。

5. 平成27年度事業計画要旨報告（落合理事長）

（1）日本ソフトテニス連盟の主な事業計画を理事会資料により説明。

特記事項のみ説明。

・ゼッケン着用について

高体連は27年度インターハイから実施、中体連は28年度から完全実施する。

・大会審判時にワッペン着用の義務化をし、審判員の意識向上を図る。

県連主催大会も同様に実施する。

・勝者審判制の導入について

2回戦等選手に負担のかからない範囲で勝者審判制を導入する。

県連主催大会は当面、敗者または相互審判とする。

（2）平成27年度県連盟事業計画（案）提案（落合理事長）

理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明した。

ただし、東海シニア選手権大会は東海選手権大会に変更する。

なお「平成27年度大会・行事予定」の内、県シングルス選手権大会およびダンロップ中学1年生大会の日程を調整する。その他一部誤記を訂正し、最終は3月常任理事会で報告し決定する。

また、県選手権大会に小学生上位2ペアを参加できるようにする。

6. 平成26年度収支予算（案）提案（落合理事長）

理事会資料により平成27年度収支予算案の概要を説明した。

<概要>

- ・東海地区大会は収支とも東海シニア選手権大会から東海選手権大会に変更した。
- ・収入は26年度の実績をもとに計上した。
- ・支出は大会費、強化費、競技者育成プログラム費を増額し、その他は実績をもとに計上した。

*高木会長から、昨年の東日本選手権大会の参加は、1ペアであった。参加選手の費用の援助をしたら参加者が増えると思うので検討するよう指示があった。

<事業計画（案）、収支予算（案）について、承認された。>

7. その他

(1) 静岡県規約改正について

表決権について明確にするために規約の改正を提案した。

提案要旨：常任理事会は出席している構成員が表決に参加できる。

理事会は出席している理事が表決に参加できる。

討議の結果

常任理事会での表決参加者は提案どおり決定した。しかし理事会は理事以外の、副会長、顧問、監事等理事会に出席している者全員にも表決権を与えた方がいいとの意見等があり、理事会の表決権は別途検討していくこととした。

(2) 大会申込システムの導入について

「大会申込システムの導入」の資料により説明。4月より導入実施する。2月10日～3月10日のテスト期間での体験および導入について、各団体に周知するようお願いした。

(3) 使用球について

スリクソンのボールを合わせ、3社のボールを大会毎に要項で1社に決めて使用する。

常任理事会で報告することにした。

(4) 要望事項

- ・県内ランキングが2位までのクラスがあるが4位、あるいは8位までランキングしてほしい。
(岩本副会長)

回答：参加者が6ペアから8ペアまでの種別は、予選リーグ1位による決勝トーナメントとなるため2位までとなる。

- ・スポーツ指導員連絡協議会の役員をどうするか、県連盟の指導者部会に入れるのか、を明確にしていきたい。(久保田)

回答：早急に検討していきたい。(落合理事長)

- ・大会での傷害保険について(天野常任理事)

回答：会員登録者は日本連盟傷害補償制度を適用、中学生は部活中の保険を適用、小学生はクラブで保険に加入している。

閉会挨拶

長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。意見があれば活発に議論をし、決まったことは、みんなで協力していきたい。

理事会終了後、26年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。